

平成24年度 第3回 府中市桜通り等改修事業検討協議会議事録

1 日時 平成25年3月26日（火）午後2時00分から午後4時00分

2 場所 府中市中央文化センター4階第1会議室

3 出席者

(1) 桜通り等改修事業検討協議会委員

神 庭 正 則	出 席
福 嶋 司	出 席
伊 藤 敏 春	出 席
長 谷 川 光 男	出 席
藤 澤 光 男	出 席

過半数の出席により会議は有効に成立

(2) 事務局出席者

雫石都市整備部次長

土木課 大原課長補佐

〃 遠藤主査

〃 染谷技術職員

(3) 傍聴者

0名

4 進行

- 1 前回会議の確認について
- 2 桜の樹種の選定について
- 3 桜通り等の植栽間隔について
- 4 公共施設との連携について
- 5 その他

5 資料

(1) 平成24年度第3回府中市桜通り等改修事業検討協議会

6 会議内容（協議結果）

- (1) 次第1 前回会議の確認について
特に意見は無かった。

- (2) 次第2 桜の樹種の選定について
【協議会の意見】

- (委 員) ソメイヨシノはやはり王様。
(委 員) 陽光の樹形はすらっとしていて、街路樹には適している。
(委 員) 淡いピンクの中に、濃いピンクの陽光があってもいいのではないか。
(委 員) ソメイヨシノと同じ時期に咲く花が良い。同じ時期に咲くのであれば、何種類かあってもいいのではないか。
(委 員) あまり大きくならない樹種を選定するのであれば、豆桜が入っているものが良い。
(委 員) 陽光は、ソメイヨシノより少し開花時期が早い。
(委 員) 改修計画の目的は、市民がより楽しめるような空間にすることであるということを考えなくてはならない。
(委 員) 街路樹を30年単位で植え替えるのであれば、ソメイヨシノでも問題無い。
(委 員) 桜と住宅の距離をとるのであれば、30年単位で植え替えるというものも1つの選択肢である。
(委 員) 20年先のことでなく、現在起こっている問題を解決することもある必要がある。
(委 員) 桜の樹種は「小彼岸」、「越の彼岸」を候補とし、「ソメイヨシノ」や「陽光」をポイントで植える。
(委 員) ソメイヨシノと似たような色で同じような時期に咲く樹種の中から、根、高さ、枝張り等を考慮して選定する必要がある。
(委 員) 「江戸彼岸」や「大島桜」を公園等に植えていただきたい。

- (3) 次第3 桜通り等の植栽間隔について
【協議会の意見】

- (委 員) どのくらいの大きさの樹木を植えるかにより、植栽間隔は異なってくる。
あまり小さい木を植樹すると、植樹してから10年から15年くらい間隔が空いたように感じる。
(委 員) 植え替えは一度に行うのか。
(事務局) 一度に行うのは財政面においても難しいため、区間を分けて行っていきたい。
ただし、危険な樹木に関しては短期的に実施する。
(委 員) 一度に植え替えず、短期及び中期で考えていけば良い。

- (委 員) 病気にかかっている樹木と歩行者の障害となっている樹木を優先的に行っていく必要がある。
- (委 員) 急ぐ必要があるものから行っていく。植栽間隔はどうしていくか。
- (事務局) 小彼岸、越の彼岸であれば10メートル間隔であれば問題ないと考えている。
- (委 員) 狭い箇所は解消するが、その他は今の間隔で良い。
- (会 長) 今の植栽間隔を基本に考え、弱っている樹木や問題が生じている樹木をまず植え替えていく。

(4) 次第4 公共施設との連携について

【協議会の意見】

- (委 員) 府中市民球場だけでなく、寿中央公園にも桜を植栽して欲しい。寿中央公園には桜まつりでもあまり人が集まらない。
- (委 員) 公共施設と連携し、スペースが確保出来そうな場所にソメイヨシノを植栽するのは良い。
- (委 員) 桜通り広場公園の子供のモニュメントは人気が無いため、他の場所に移動出来ないか。
- (委 員) 寿町の住民に意見を聞けば良いのではないか。
- (委 員) 人が集まるような場所には枝垂れ桜を植栽しても良いのではないか。
- (委 員) 中央文化センターは、ソメイヨシノではなく、大島桜のような白い花が咲く樹種でも良いのではないか。また、府中第一小学校前は、陽光であればあまり大きくなり、開花時期もソメイヨシノより少し遅いのではないか。住民の意見を聞くことも大切である。
- (委 員) シンボルとなる樹木については地元住民の声を聞くべき。
- (委 員) 今回の視察において確認出来なかったが、仙台屋も大きさや開花時期を考慮すると、候補の1つとして考えられる。
- (会 長) 本日の協議会のまとめは、次のとおりである。
樹種に関しては、小彼岸と越の彼岸をメインに考える。
植栽間隔については10mとし、出来るだけ既存の植栽マスを利用する。
傷んでいる樹木、根上がりを起こしている樹木については、出来るだけ早急に伐採・植え替えを行う。
公共施設との連携について、桜通り広場公園については枝垂れ桜、中央文化センターについては大島桜、第一小学校については陽光を植えてはどうかとの意見が出た。

(5) 次第5 その他

【協議会の意見】

(事務局) 公共施設との連携については、都立農業高校前とも連携して活用していきたいと考えているため、委員の後押しをいただければと考えている。

(事務局) 同じマスに植えるという意見が出ていたが、前回の協議会では、連作は出来ないとのことであったと思う。うまく育つものなのか。

(委員) 土は全て入れ替えるのか。

(事務局) 消毒して土を入れ替える。土の入れ替えは、マスの中だけ行えば良いのか、マスの周辺まで行わなければならないのか。また、それだけで連作を行うことは出来るのか。

(事務局) 植え替えの際は、現在の植栽樹の土の入れ替えを行えば問題ない。その後、バリアフリー工事の際に根を伸ばせるような配慮をしてはどうか。

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証するため、ここに署名する。

会 長

福 嶋 司

委 員（藤澤委員）

藤 澤 光 男